

令和6年4月に文部科学省が公表した「当面の推奨帯域」を満たすことを標準とする。
なお、適切なネットワーク環境の整備には、帯域調査のほか、
ユーザー体感調査も重要とされる。
いずれかに課題があった場合は、専門知識を有するネットワークアセスメントの
依頼を検討する。

・学習者用端末

一人1台端末の整備を前提とし、日常的な活用を継続できるように予備機の準備も必要。
※義務教育段階では、令和5年度補正予算によりGIGAスクール構想加速化基金が
設けられました。端末の故障率を考慮し、15%の予備機を含めた更新費用について、
国が3分の2を支援します。これは、令和10(2028)年度までの5年間更新されます。

・ICT支援体制

各自治体の学校(小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、
中等教育学校及び特別支援学校)に対し、4校に1人ICT支援員を配置。
支援の形態は、学校への巡回と、遠隔対応の組み合わせなどがある。
また、電話やチャット、メールなどを使って、技術的な問い合わせができるよう、
ヘルプデスクを設置する。

さらに、次世代校務DX環境整備では、令和11(2029)年度までに、
「校務システムを導入済みの自治体の割合」や
「教職員の働き方改革にも資するロケーションフリーでの校務処理を行っている
自治体の割合」を100%とするよう求められています。

▼令和7年度以降の学校におけるICT環境の整備方針及び学校の
ICT環境整備3か年計画(2025~2027年度)について(通知)

https://www.mext.go.jp/content/20250128-mxt_shuukyo01-000039891_01.pdf

◇◆ トピックス (2)

2月1日から3月18日は、「サイバーセキュリティ月間」です

.....◆◇

2月1日から3月18日は、日本政府が定めた「サイバーセキュリティ月間」です。

近年、サイバー攻撃や不審なメールを起因とした情報漏えいのリスクが高まっています。
児童・生徒や教職員の個人情報の流出、第三者による不正アクセスなど、
サイバーセキュリティに関する問題も多数報じられています。

こうした背景を踏まえ、政府では「サイバーセキュリティ月間」を設け、
全国的な啓発活動を推進しています。

子供たちが安全安心に ICT の利活用を進められるよう、
一人一人がセキュリティ意識を高め、適切な対策を行うことが求められます。

情報セキュリティの重要性を再確認し、適切な対応策を検討することが重要です。
例えば、以下のような取り組みが推奨されます。

- ・パスワード管理の見直し（強固なパスワードの設定）
- ・不審メールへの対応強化（教職員、児童・生徒向けの注意喚起）
- ・学校のネットワークセキュリティ対策（アクセス制限や監視体制の強化）

この機会に、サイバーセキュリティ対策を改めて見直してみてもはいかがでしょうか。

▼内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）「サイバーセキュリティ月間」
<https://security-portal.nisc.go.jp/cybersecuritymonth/2025/>

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■
□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～
■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2025年2月4日調査）

☆☆★ (1) 紛失・置き忘れ：10件 (2) 誤公開：5件 (3) 誤送信：3件
(4) 誤配布：1件 (5) 不正アクセス：1件

☆☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2024年1月は、合計20件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、
漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

(1) 紛失・置き忘れ

広島県 2025年1月6日 私立中学・高等学校 書類 52件

兵庫県 2025年1月7日 市立小学校 書類 86件

静岡県 2025年1月15日 市立小学校 タブレット端末 59件

大阪府 2025年1月15日 小学校 書類 34件

広島県 2025年1月16日 市立小学校 書類 不明

兵庫県 2025年1月21日 市立高等学校 書類 357件

大阪府 2025年1月23日 府立高等学校 その他 87件

千葉県 2025年1月24日 市立小学校 書類 約30件

北海道 2025年1月29日 小学校 書類 27件

広島県 2025年1月31日 市立中学校 USBメモリ 約1,600件

(2) 誤公開

富山県 2025年1月21日 県立高等学校 書類 1件

静岡県 2025年1月22日 県立高等学校 書類 1件

富山県 2025年1月24日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 19件

群馬県 2025年1月24日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 275件

富山県 2025年1月29日 市立小学校 インターネットサービス・アプリ 326件

(3) 誤送信

福岡県 2025年1月17日 私立大学 インターネットサービス・アプリ 82件

佐賀県 2025年1月23日 私立高等学校 電子メール 1,622件

鹿児島県 2025年1月31日 市 電子メール 37件

(4) 誤配布

新潟県 2025年1月17日 児童館・学童クラブ 書類 1件

(5) 不正アクセス

富山県 2025年1月24日 県立高等学校 パソコン、インターネットサービス・アプリ 19件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

47NEWS/神戸市ウェブサイト/Yahoo!ニュース/Security NEXTNHK/読売新聞オンライン/

大阪府ホームページ/千葉日報オンライン/NHK NEWS WEB/静岡県ホームページ/群馬県ホームページ/

富山県ウェブサイト/佐賀新聞電子版 など

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【3】 学校ICT・セキュリティコラム

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

◆ICT教育推進には管理職が重要◆

茨城大学教育学部 教授 毛利 靖

GIGA スクール構想により、
全国の小・中学校の全ての子供たちに端末が整備されて5年目となるが、

「まだ端末活用が進んでいない地域がある」という話題を数多く耳にする。

世界では、今まで考えもしなかった生成 AI が登場し大きな話題となり、それを活用した自動運転や人工知能などの開発が進み、
またもや日本は大きく出遅れてしまっている。

今、小・中学校に通う子供たちは、
そうした誰も予測できない Society5.0 の未来で活躍するためには、
受け身の学習ではなく、常に知的好奇心を働かせ、探究していくことが求められている。

しかし、いくつかの学校は、
今日やるべきことをこなすことで精いっぱいとなっていて、
未来を見据えた学校を創ろうという考えに至っていないのが現状である。

目の前のテストで良い点を取らせようと、教師は一生懸命に子供たちに教え込む。
子供たちはそれに応えようと必死に憶えようとする。
先生の言うことを聞き、先生が喜ぶような答えを懸命に探し、
教師の意図に沿わない答えを出した子供は認められないのである。

また、授業改善の意欲を持ち、周りの誰も行っていない新しい取り組み
(プログラミング、生成 AI の活用) などに挑戦しようものなら、
「そんなことをして成績が上がるのですか」と言われる始末である。

そうした状況を打破し、学校にやる気を取り戻すのが管理職の役割である。

私は、平成 30 年 4 月に開校した「つくば市立みどりの学園義務教育学校」で校長を務めた。
ICT 教育を推進するにあたり、私がしたことといえば、
学校のビジョンを示したことと、いろんなことにチャレンジしたいという
先生方に対して「いいね」と後押ししたくらいである。
令和 2 年 4 月、コロナにより全国の学校が休校となった。
しかし、学びを止めることはできないと考え、
先生方と考えたのが「教師による授業の動画配信」である。
先生方は、電子黒板を使って、授業をするのをビデオで撮り毎日配信した。
これには、先生方からある懸念あったため、
校長として、保護者に「コロナで学びを止めないように、毎日、授業の動画を配信します。
教師が言い間違えしたり、失敗したりしても編集しません。そのまま配信します。
そのほうが、リアルな感じで楽しいと思います。
子供たちの学びの保証のためによりしくお願いします」と伝えた。
保護者にも理解していただき、コロナを乗り切ることができた。
その後、学校は、新しい校長と先生方でさらに学校改革を推進し、

今では文部科学省の生成 AI のパイロット校になり、全国に情報を発信している。
先日、授業を参観する機会があったが、これまで以上に子供たちは自信満々に
自分の研究を説明し、教師も楽しそうに生成 AI を活用していた。
現在の校長は、ICT 教育を専門に行ってきたわけではないが、
教師のやる気を引き出し、先生方も明るく楽しみながら授業を行っているのである。
これまで行ってないことにチャレンジすることは、勇気と覚悟が必要だが、
それを実現させることができるのは、管理職しかいない。
現状に不満ばかり述べるのではなく、先生方を信じてチャレンジさせてあげて、
素晴らしい学校になることを期待している。

……◆◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◆……

ISEN では、昨年 11 月に「令和 5 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい
事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2/>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy/>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3/>